

学科YouTube講座

1. 講座の構成と工程

2022年1月の学科YouTube講座は、下記6項目での構成となります(各項目の工程は下記参照)。

本講座は、2~3日に1項目ずつアップしています。一度、YouTubeとして公開し、その後に会員講座内で一覧表として再アップしています。また、紙ベースで打出して学習できるように、PDFも一緒に掲載しています。PDFは、2021年11月からアップしているII設備から「ノート形式」としています。2022年1月からのアップ予定は、下記の通りです。今年、初回アップであることと時間の都合等から、2~3日でまとめられる内容とし、毎年、その年の課題内容を組み込みながら、さらに内容の充実を図り年々内容が充実するように再アップをしていきます。

- (1) 学科共通事項のYouTube講座 ⇒適宜アップ
- (2) I 計画の項目別YouTube講座 ⇒2022年1月にR3組込アップ予定
- (3) II設備の項目別YouTube講座 ⇒2021年11月にR3組込アップ済み
- (4) III法規の項目別YouTube講座 ⇒2022年3月にR3組込での再アップ予定
- (5) IV構造の項目別YouTube講座 ⇒2022年4月にR3組込での再アップ予定
- (6) V施工の項目別YouTube講座 ⇒2022年2月にR3組込アップ予定

2. 講座の概要

本講座は、過去に学科講座でアップしていた「重要項目の解説」と「用語の解説」を参考に、できる限り分かりやすい図や表などを組込みながら資料作りをしています。その図は、著作権にかからないよう手書きで書いていることから、綺麗な図ではありません。下記に参考として、学科I計画の「3.西洋史(一部)」のPDFアップ例を示します。

1級学科R3組込解説【I計画 3.西洋史】2021年12月22日

建築資格研究会: www.kenchiku-shikaku.net

このYouTubeは、見るだけで、今年の学科試験に合格できたといっ頂けるように全力を尽くします。

ヴォルムス大聖堂

ヴォルムス大聖堂は、東西両端にアプスを対置させた二重内陣と身廊の両側に側廊を設けたバシリカ形式で構成され、東西の内陣と交差部に六つの塔をもつロマネスク様式の建築物である。

(3) 建築と様式

建築図から様式の違いを探す問題である

建築(図有)	建築様式
ゴシック建築	フライングバットレス
ルネサンス建築	二重殻のドーム
初期キリスト教建築	柱廊付バシリカ形式
ローマ建築	コリント式オーダー
ビザンチン建築	ペンデンティヴドーム

(3) 建築と様式について説明します。
この問題は、建築図から建築様式の違いを探す問題です。
以下は、すべて正解ですが、この中の建築様式を変えてものが出題されていません。
フライングバットレスはゴシック建築、二重殻のドームはルネサンス建築、柱廊付バシリカ形式は初期キリスト教建築、コリント式オーダーはローマ建築、ペンデンティヴドームはビザンチン建築です。
以下、この図を示します。

西洋史の出題傾向

西洋史の出題傾向は大きく3パターン

- (1) 建物と特徴 ⇒2回以上の出題建物を抽出
- (2) 建物と人名 ⇒一覧表にした(応用編有)
- (3) 建築と様式 ⇒建築図を見て様式を当てる

サヴォア邸

サヴォア邸は、ル・コルビュジェによって設計された住宅で、「近代建築の五原則」を作品として体現した空間構成が特徴である。

初期キリスト教建築

建築様式は、柱廊付バシリカ形式である。

この図の建築様式は、柱廊付バシリカ形式であり、初期キリスト教建築です。

(1) 建物と特徴

過去20年間で2回以上出題の建物抽出

- ① ピサ大聖堂
- ② ヴォルムス大聖堂
- ③ コルドバの大モスク
- ④ サヴォア邸
- ⑤ タッセル邸
- ⑥ リンゴット工場再開発
- ⑦ テイト・モダン
- ⑧ オルセー美術館

順番に解説

テイト・モダン

テイト・モダンは、煉瓦造の火力発電所を、エントランスホールを兼ねた5層吹抜けの巨大な展示空間をもつ美術館に転用したものである。

ビザンチン建築

建築様式は、ペンデンティヴドームである。

この図の建築様式は、ペンデンティヴドームであり、ビザンチン建築です。